

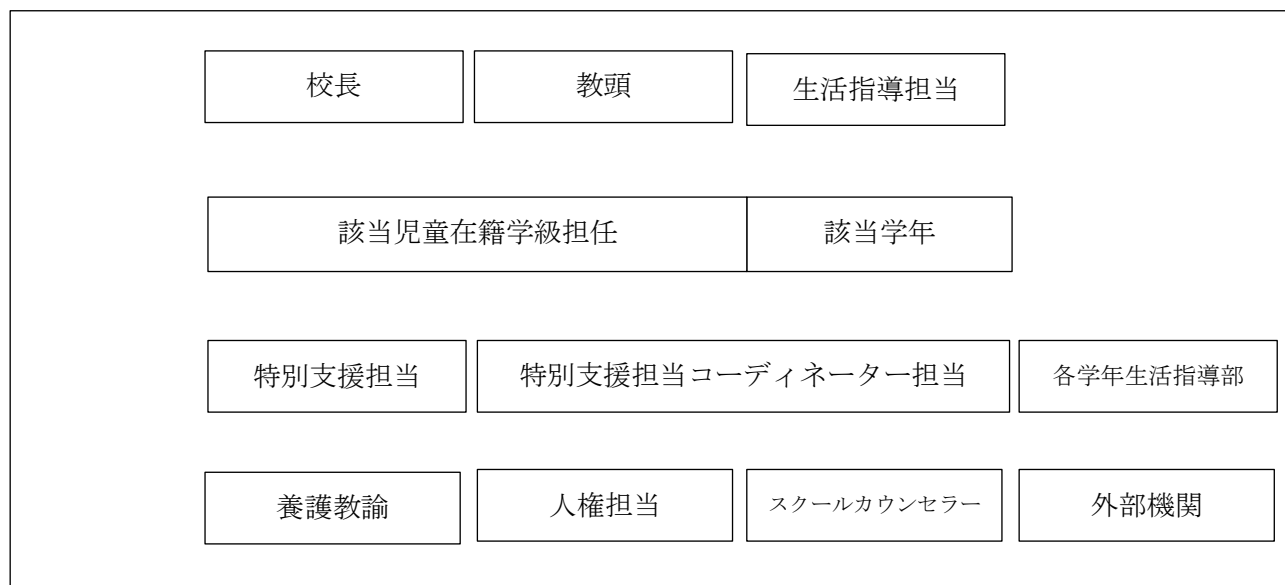
校内組織体制および関係機関

生活指導部

いじめ対策における目標

- ・児童が自尊心を持って、楽しく生活できる学校環境を整える。
- ・いじめの未然防止に努め、児童同士の関係や日々の言動から察知する。
- ・いじめの早期発見（アンケート）、早期対応（組織的対応）に努め、問題解決に取り組む。

いじめ問題対策委員会



対策

① 未然防止（リスクマネジメント）

- ・学級の様子を学年やメンターを中心に交流し、複数の目で芽を摘んだり、見守ったりする体制を作る。
- ・保護者からの相談などに即時対応し、事案になる前に学級経営に反映させる。

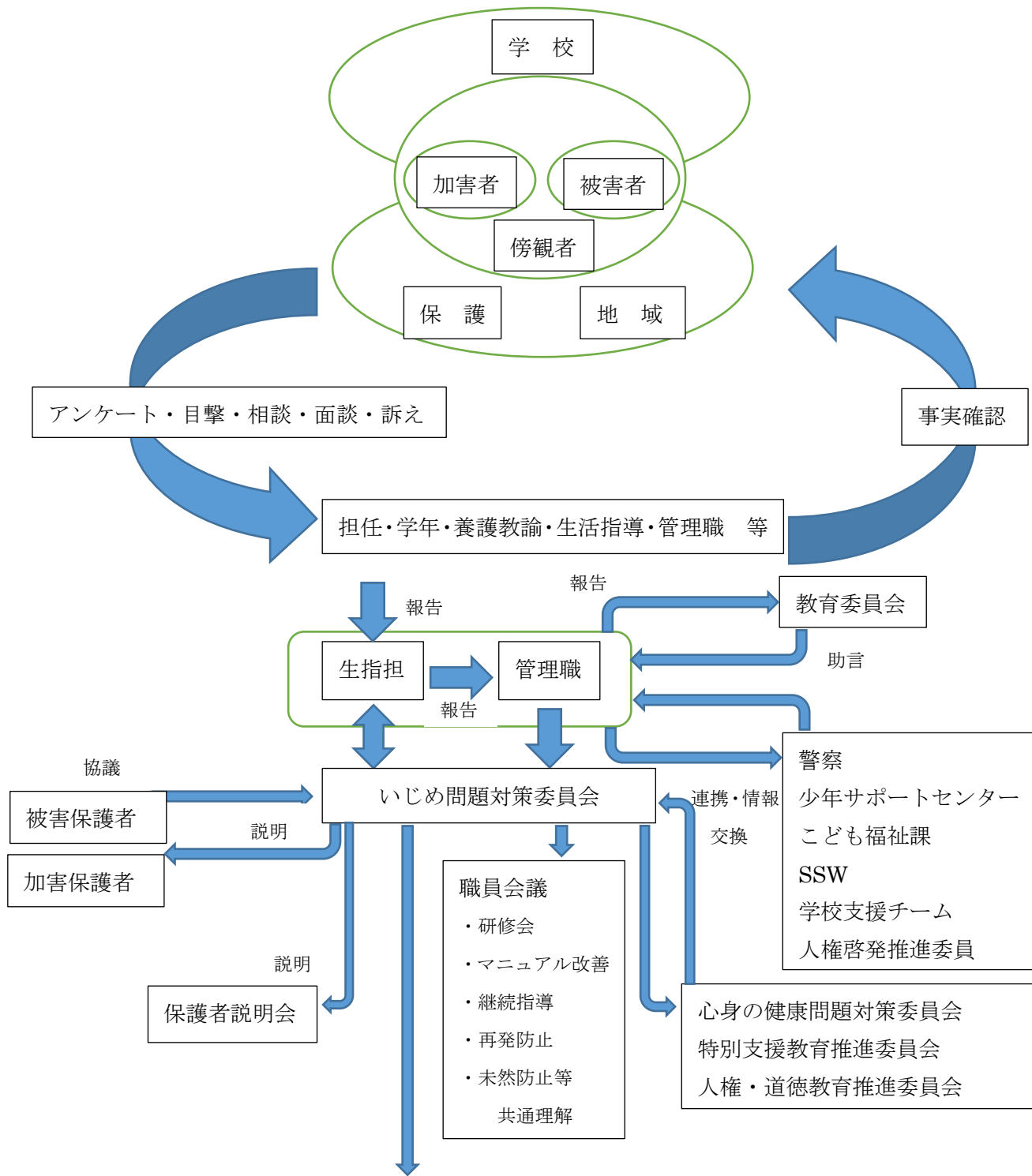
② 早期発見・早期対応（クライシスマネジメント）

- ・いじめアンケート（市内統一の書式、記名式）を活用し、学期末に実施。聴取、対応にあたる。
- ・校内のいじめ対策委員会に事案を報告し、対応チームの選定、対策の検討、保護者・外部機関との連携等を組織で検討、対応していく。
- ・いじめのスケールの大小を問わずにいじめ対策委員会に報告し、学年や担任個人での抱え込みを防ぐ。
- ・保護者対応は管理職とも相談しながら、組織で対応の方向性を確認してから行う。

③ 経過観察・再発防止

- ・対応後、3ヶ月を目安に該当児童の周辺の様子や本人の回復を観察、居場所作りに努める。
- ・事案に関係した児童のメンタルケアにスクールカウンセラー等との連携をはかる。

組織図



各種対応				
被害者対応	加害者対応	傍観者対応	保護者対応	マスコミ対応
学級担任	学級担任	学級担任	学級担任	管理職
学年	学年	学年	学年	
生活指導担当	生活指導担当	生活指導担当	生活指導担当	
養護教諭・SC	養護教諭・SC	養護教諭・SC	SSW	